

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
商	マーケティング	夜・通信	10		4	14	13	
	経営	夜・通信		4	14	13		
経済	経済	夜・通信		4	14	13		
国際関係	国際関係	夜・通信		4	14	13		
	国際メディア	夜・通信		4	14	13		
人間社会	福祉心理	夜・通信		4	14	13		
	人間スポーツ	夜・通信		4	14	13		
	スポーツ科学	夜・通信		4	14	13		
言語コミュニケーション	英語コミュニケーション	夜・通信		4	14	13		
医療健康	理学療法	夜・通信		4	14	13		
経済	経済 English Track Program	夜・通信		4	14	13		
国際関係	国際関係 English Track Program	夜・通信		4	14	13		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/pdf/2026jitsumu_keiken_kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	他法人役員	2025. 5. 30 ～ [注]	組織運営体制への チェック機能
非常勤	他法人役員	2025. 5. 30 ～ [注]	組織運営体制への チェック機能
(備考) 選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の 終結の時まで。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> 授業計画書(シラバス)記載事項 単位数、ナンバリング、授業内容(実務経験のある教員等による授業科目に関してはその内容を含む)、到達目標(授業の狙い)、関連科目や履修上望むこと、学位授与と科目との関連、単位制における学修時間、教科書・参考文献、授業方法[グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、PBL(課題解決型学習)、反転授業、実習、フィールドワーク]、LMS(Moodle)活用方法[小テスト、課題、フォーラム、フィードバック、調査、投票、その他、詳細]、授業計画、事前学修・事後学修、成績評価基準[平常点、試験、レポート、その他]、試験・課題等フィードバック方法、授業に関する質問への対応、授業における生成AIの使用方針等 授業計画書(シラバス)の作成過程・公表時期 	
時期	内容
12月上旬～12月中旬	事務局担当者より教員に担当科目の通知及びシラバス作成依頼
12月中旬～1月上旬	担当教員によるシラバス作成
～1月末日	事務局担当者による記載内容の確認～修正
2月上旬～3月中旬	学長、学部長、当該教育課程(プログラム)の責任者による記載内容の確認
3月中旬～	Webにてシラバス公開
授業計画書の公表方法	https://poti.tiu.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ◆ シラバスにおいて、各授業科目の到達目標および成績評価基準（平常点・試験・レポート・その他）を明示している。また、各評価基準については、詳細欄を設けて評価の根拠を具体的に示し、曖昧さの排除に努めている。
- ◆ なお、1年次生の一部履修科目（必修）については、『学生ガイドブック【履修編】』に明示したループリックに基づき評価を行っている。また、English Track Program の卒業論文では、ガイドラインに示したループリックに基づき評価を行っている。

上記の方針に則り、厳格かつ適正に単位を授与している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、全学統一の評価基準としてGPA制を導入している。2016年度からは、国際標準化および厳格適用を方針として、下記の評価基準を適用している。

・評価基準

各授業科目の成績は100点を満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。不合格の場合、単位の認定は行わない。成績は、下表「成績評価・評価点及び得点」の「成績評価」欄に基づき、成績表に表示・発表される。

なお、「得点（総合点）」は、定期試験の結果のみによるものではなく、平常点・試験（理解度テスト、テイクホーム試験を含む）・レポート・その他（授業での報告、課題の提出状況および内容等）をシラバスに明示のとおり総合的に勘案したものであり、当該総合点をもって成績評価を行う。

・成績評価・評価点及び得点

成績評価	評価点 (GP)	得点 (総合点)
A	4.0	96-100
A-	3.7	92-95
B+	3.3	88-91
B	3.0	84-87
B-	2.7	80-83
C+	2.3	76-79
C	2.0	72-75
C-	1.7	68-71
D+	1.3	64-67
D	1.0	60-63
F	0.0	0-59

・GPAの算出方法

各評価に対応するグレードポイント (GP : Grade Point) は、「成績評価・評価点及び得点」に示すとおりである。GPA値は、履修科目のグレードポイントに科目ごとの単位数を乗じた値の合計を、履修登録単位数の合計で除して算出する（単位数による加重平均）。

客観的な指標の算出方法の公表方法

<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/gpa.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の基準および手続きについては、ディプロマ・ポリシーならびに卒業要件として『学生ガイドブック【履修編】』に明示するとともに、年度初めのガイダンスにおいて説明を行っている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/financial_data/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/financial_data/index.html
財産目録	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/financial_data/index.html
事業報告書	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/business_report.html
監事による監査報告(書)	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/financial_data/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tiu.ac.jp/about/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.tiu.ac.jp/about/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html) (概要) 商学部は、多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる能力を備えた人材を養成します。 マーケティング学科はビジネスにおいて必要とされる多様な専門知識を持ち、その応用能力を備えた人材を養成します。 経営学科は、経営に関する専門知識と実践力を持ち、それらを実社会で応用できる人材を養成します。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/) (概要) 商学部は、全学ディプロマ・ポリシーで示す要件と学則の定める卒業要件を満たし、次の資質や能力を修得した者に学士の学位を授与します。 〔マーケティング学科〕 1. ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。 2. 市場環境変化への適応において必要とされる ICT を含む多様な専門知識を身に付けている。 3. 主に市場環境変化に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決を実践的に図ることができる。 4. 国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。 5. 市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。 6. ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。 〔マーケティング学科（データサイエンスコース/グローバルデータサイエンスコース）〕 1. ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。 2. 市場環境変化への適応において必要とされる ICT とデータサイエンスを核とする多様な専門知識を身に付けている。グローバルデータサイエンスコースにおいては、さらに、英語での実践的なビジネスコミュニケーションに関する知識と運用能力を身に付けている。 3. 主に市場環境変化に関する（ビッグ）データを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決を ICT を駆使して実践的に図ることができる。 4. 国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとり、実践的なグループプロジェクトを遂行することができる。 5. 市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。 6. ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。

〔経営学科〕

1. ビジスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。
2. 経営管理に必要とされる ICT を含む多様な専門知識を身に付けている。
3. 主に経営管理に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を実践的に図ることができる。
4. 国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。
5. 経営を起点として、社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。
6. ビジスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。

〔経営学科（データサイエンスコース/グローバルデータサイエンスコース）〕

1. ビジスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に付けている。
2. 経営管理に必要とされる ICT とデータサイエンスを核とする多様な専門知識を身に付けている。グローバルデータサイエンスコースにおいては、さらに、英語での実践的なビジネスコミュニケーションに関する知識と運用能力を身に付けている。
3. 主に経営管理に関する（ビッグ）データを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、ビジネス上の問題の解決を ICT を駆使して実践的に図ることができる。
4. 国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとり、実践的なグループプロジェクトを遂行することができる。
5. 経営を起点として、社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。
6. ビジスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/>）

（概要）

商学部は、全学 CP を共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。

1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。
2. 専門課程で学修する多くの科目の中から、学生の関心・進路に応じたテーマを中心に学べる「複数の履修コース」を提示します。
3. 基礎演習（2年次）・専門演習（3年次および4年次）において、商学および関連分野の多様な学修・研究を可能にします。
データサイエンスコース・グローバルデータサイエンスコースでは、1年次・2年次にデータサイエンスを修得するため基礎的な IT 技術、AI 数理技法、経済・ファイナンスの基礎を学ぶ科目を設置します。3年次・4年次は専門演習において商学および関連分野の多様な学修・研究を可能にします。
4. 地域と連携した講義や実践的な学修・活動を通じて、社会とつながる学修を進めます。
5. 多くの専門科目および演習・実践的な学修において、社会の現場における課題に果敢に取り組む実践力を磨く学修を行います。

上記 CP に加え、学科ごとに次の方針を定めます。

〔マーケティング学科〕

1. 専門課程への導入のために、マーケティング学科の学科内専門共通科目を選択必修科目として定めます。
2. マーケティング、国際ビジネス、地域イノベーション、IT マーケティング、データサイエンスの専門分野を中核とし、教養コア科目、言語スキル科目、関連する専門科目を

包摂した複数の履修コースを提示して、体系的履修を可能とします。

〔経営学科〕

1. 専門課程への導入のために、経営学科の学科内専門共通科目を選択必修科目として定めます。
2. 経営、会計、ファイナンス、IT ビジネス、データサイエンスの専門分野を中核とし、教養コア科目、言語スキル科目、関連する専門科目を包摂した複数の履修コースを提示して、体系的履修を可能とします。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)

(概要)

〔マーケティング学科〕

マーケティング学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。

- ・市場 (Market) の動向に関心をもち、ビジネス現場での実践力を修得する意欲を有する。

〔経営学科〕

経営学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。

- ・企業の動向に関心をもち、経営能力、組織管理能力を修得する意欲を有する。

〔データサイエンスコース／グローバルデータサイエンスコース〕

データサイエンスコース／グローバルデータサイエンスコースでは、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。

- ・社会・ビジネスの動向に関心をもち、ICT とデータサイエンスに関する知識を応用する実践力を修得する意欲を有する。

学部等名 経済学部

教育研究上の目的

(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)

(概要)

経済学部は、国際社会に生きる経済人として、世界を舞台にした経済活動に様々な分野からアプローチできる確かな理論と実践力を備えた人材を養成します。

経済学科は、経済学を基軸とした知識をもとに、経済社会のさまざまな現場において、論理的に考え、問題解決を図る実践力を備えた人材を養成します。

卒業又は修了の認定に関する方針

(公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/>)

(概要)

経済学部経済学科は、以下の能力を修得し、学則に定める所定の卒業要件を満たした者に学士 (経済学) の学位を授与します。

〔経済学科 現代経済専攻〕

1. 経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。
2. 経済学およびその隣接学問分野に関する専門知識を身に付け、経済活動に関する制度や市場のメカニズムを理解している。
3. 経済学およびその隣接学問分野に関する知識をもとに収集した情報・データを利用して、論理的に思考し、問題の解決を図ることができる。
4. 内外における経済社会問題について、文化、価値観等の多様性に配慮して、グローバルな視点からバランスの取れた考え方を示すとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。

5. 社会に対する関心と志を高くもち、身に付けた経済学的思考力を活かして社会に貢献する態度を有している。
6. 社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、経済社会分野を中心に新しい可能性にチャレンジができる。

[経済学科 ビジネスエコノミクス専攻]

1. 経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。
2. 経済学に関する専門知識を身に付け、戦略的な観点から経済活動に関する制度や市場のメカニズムを理解することができる。
3. 経済学に関する知識をもとに収集した情報・データを利用して、最適な企画を立案し、問題解決につなげることができる。
4. 内外における経済社会問題について、文化、価値観等の多様性に配慮して、グローバルな視点からバランスの取れた考え方を示すとともに、語学力を高めることで、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。
5. 社会に対する関心と志を高くもち、身に付けた経済学的思考力を活かして社会に貢献する態度を有している。
6. 社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、経済社会分野を中心に新しい可能性にチャレンジができる。

[English Track Program, Business Economics Major]

1. The ability to acquire wide-range of knowledge and diverse perspectives in a wide variety of fields to address business and economic issues.
2. The ability to acquire the academic and practical knowledge on business economics, and the ability to productively use such knowledge.
3. The ability to collect and logically analyze diverse information and data to resolve real-world problems.
4. The ability to grasp diverse values and cultures of the global society and to tackle challenging problems independently as well as in cooperation with others.
5. The ability to engage in society as a global citizen and contribute to sustainability.
6. The ability to innovate and advance the business and society with a sense of humanity and an ethical mind.

[English Track Program, Digital Business and Innovation Major]

1. The ability to acquire wide-range of knowledge and diverse perspectives in a wide variety of fields to address business and societal issues.
2. The ability to acquire the academic and technical knowledge on digital business and data science, and the ability to productively use such knowledge.
3. The ability to collect and logically analyze diverse information and big data to resolve real-world problems.
4. The ability to grasp diverse values and cultures of the global society and to tackle challenging problems independently as well as in cooperation with others.
5. The ability to engage in society as a global citizen and contribute to sustainability.
6. The ability to innovate and advance the business and society with a sense of humanity and an ethical mind.

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/>)

(概要)

経済学部経済学科では、全学 CP を共通基盤とし、その上に、経済社会のさまざまな現場において、論理的に考え、問題解決を図る実践力を備えた人材の養成を目指し、次の方針を定めます。

1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。
2. 専門課程では、「理論・戦略」、「ファイナンス」、「国際」、「地域・公共」、「スポーツ」などの分野ごとに科目を編成するとともに、学生の関心・進路に応じた多面的な履修ができるよう複数の履修コースを提示します。
3. 現代経済専攻では、
 - ① 経済学の基本的な考え方を基にして、経済について多面的に理解するとともに、広範な知識とスキルを身につけることを目指した科目を配置します。
 - ② 自らの関心にもとづいて、様々な分野から自由に、かつ、段階的に履修することができる<経済総合コース>、地域・公共分野、スポーツ分野からそれぞれ重点的に学ぶ<地域デザインコース>および<スポーツ経済コース>を提示します。
4. ビジネスエコノミクス専攻では、
 - ① ビジネス社会で必要な経済学的思考や戦略的思考を身に付け、実践の場においてそれらを活用できることを目指した科目を配置します。
 - ② 金融に関する先端的な知識と問題解決能力を身につける<ファイナンスコース>、社会の様々な場面で、目標達成のために必要な戦略や政策を立案できる能力を鍛える<ストラテジストコース>を提示します。

[English Track Program, Business Economics (BE) Major]

The BE major is designed to cultivate the analytical capability of students to tackle diverse economic and business issues in the present world. The curriculum provides various options for students to concentrate on areas of study in:

- (1) MANAGEMENT for those who are interested in cultivating overall management capability;
- (2) MARKETING for those who are interested in strengthening marketing capability in general;
- (3) ENTREPRENEURIAL BUSINESS for those who are interested in learning about entrepreneurship, ventures, and inclusive and social businesses;
- (4) FINANCE for those who are interested in analyzing diverse financial issues in corporations;
- (5) ECONOMICS for those who would like to develop logical and strategic-thinking over economic issues.

While students can freely choose courses from all five key areas, they should be aware some courses have prerequisites which need to be met first.

[English Track Program, Business Economics (DBI) Major]

The DBI major is designed to cultivate the technical, analytical, and managerial capabilities of students, considered necessary to function in an economy and society undergoing digital transformation. The curriculum was created with careful consideration of current and future career opportunities, allowing students to concentrate on six key areas:

- (1) ENTREPRENEURSHIP AND BUSINESS INNOVATION for those who are interested in developing technology, innovating products, and establishing or supporting a new business;
- (2) ARTIFICIAL INTELLIGENCE (AI) AND DEEP LEARNING for those who are interested in learning about the AI and machine learning technologies and their business applications;

(3) DIGITAL TRANSFORMATION AND TECHNOLOGICAL INNOVATION for those who are wishing to learn about the general trend of technological changes and its implication for newly arising technologies and innovations;

(4) DIGITAL MARKETING AND ANALYTICS for those who wish to apply digital skills in marketing and the analysis of the market;

(5) DIGITALFINANCE & FINTECH for those who wish to learn about digital technologies and acquire analytical skills applicable in the fields of finance and banking;

(6) DIGITALBUSINESS MANAGEMENT for those who are interested in managing or starting up digital and e-commerce businesses.

While students can freely choose courses from all six key areas, they should be aware that some courses have prerequisites which need to be met first.

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)

(概要)

〔経済学科現代経済専攻〕

経済学科現代経済専攻では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。

- ・経済社会について多面的な理解をするための知性を身につけようとする意欲を有する。
- ・経済社会のさまざまな現場において活躍することへの大志を有する。
- ・内外における経済社会問題への関心と、さまざまな価値観についてのバランスのとれた見方を有する。

〔経済学科ビジネスエコノミクス専攻〕

経済学科ビジネスエコノミクス専攻では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。

- ・経済社会について多面的な理解をするための知性を身につけようとする意欲を有する。
- ・ビジネスの戦略や企画の立案の現場において活躍することへの大志を有する。
- ・内外における経済社会問題への関心と、さまざまな価値観についてのバランスのとれた見方を有する。

〔English Track Program, Business Economics (BE) Major〕

The School of Economics - Business Economics Major, in accordance with the University's Admission Policy, particularly seeks students with the following qualities:

- ・A positive attitude towards utilizing academic and practical knowledge as well as logical, analytical, and strategic thinking while living in our globalized world
- ・An eagerness to develop ethical, logical and strategic thought processes and learn how to apply them to business and economics settings

〔English Track Program, Business Economics (DBI) Major〕

The School of Economics - Digital Business and Innovation Major, in accordance with the University's Admission Policy, particularly seeks students with the following qualities:

- ・A positive attitude towards utilizing academic and technical knowledge as well as logical, analytical, and strategic thinking while living in our globalized world
- ・An eagerness to develop ethical, logical and strategic thought processes and learn how to apply them to business and society settings

学部等名 国際関係学部

<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)</p>
<p>(概要) 国際関係学部は、多様な国際社会の本質を理解し、理論と実践を統合し、世界で活躍する人材を養成します。 国際関係学科は、国際問題を多面的思考で捉え、地球市民として現実に立ち向かう知恵と行動力を備えた人材を養成します。 国際メディア学科は、国際的な視野で、的確な情報の受発信を通して真の共生社会実現をめざす人材を養成します。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/)</p>
<p>(概要) 国際関係学部は、以下の能力を修得し、学則の定める卒業要件を満たした者に学士の学位を授与します。 〔国際関係学科〕：学士（国際関係学） 〔国際メディア学科〕：学士（国際メディア学）</p> <p>〔国際関係学科〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多角的な視野からの幅広い知識と教養を身に付けている。 2. 国際関係分野の専門知識とその応用に必要なコミュニケーション力を身に付けている。 3. 国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる。 4. 国際社会における問題の理解と解決に必要な情報やデータを収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的な思考にもとづいて問題の解決に取り組むことができる。 5. 市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点から国際関係の幅広い知見や経験を活かして社会に貢献することができる。 <p>〔国際メディア学科〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多角的な視野からの幅広い知識と教養を身に付けている。 2. 国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の受発信についての技術力と実践力およびコミュニケーション力を身に付けている。 3. 国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる。 4. メディアから発信される多様な情報やデータを収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的な思考にもとづいて問題の解決に取り組むことができる。 5. 市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見や技能を活かして社会に貢献することができる。 <p>〔English Track Program, International Relation Major〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The ability to acquire wide-range of knowledge and diverse perspectives. 2. The ability to obtain expertise knowledge on international relations and the communication skills that are necessary to apply such knowledge. 3. The ability to grasp diverse values and cultures of the global society and to tackle various problems independently as well as in cooperation with others. 4. The ability to collect and analyze information and data necessary for understanding and resolving global issues, and doing so with a logical thinking, critical mind, and diverse perspectives. 5. The ability to engage in society as a global citizen and to make the best use of the knowledge and experience on international relations to contribute to the society.
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/)</p>

(概要)

国際関係学部は、全学 CP を共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。

1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。
2. 基礎教育分野に、幅広い知識と教養を修得する科目を設置します。
3. 両学科に共通して設置する専門分野「ツーリズム」と、国際関係学科、国際メディア学科それぞれの専門科目群の学修を活かし、多様な専門性をもつ「観光人材」を育成します。
4. 学科間共通専門分野に「特別教育プログラム」を設置し、主に「現場学習プログラム」により、学内外をフィールドに理論と現場を結びつけて学びます。

上記 CP に加え、学科ごとに次の方針を定めます。

〔国際関係学科〕

「戦争と平和」「国際協力」「現代日本」「国際地域研究」「ツーリズム」の各分野に専門科目を設置し、国際社会および現代日本社会について多面的に学修します。

〔国際メディア学科〕

社会におけるメディアの役割を的確に理解し、国際的な視野から、発信される情報の本質ならびに文化的・思想的背景を読み取るとともに、自ら世界に向けて情報を発信する能力を養うための学修を行う「メディア」「ツーリズム」「コミュニケーション」の専門科目群を設置します。

〔English Track Program, International Relation (IR) Major〕

The IR major focuses on cultivating human resources capable of thinking from a global perspective. IR curriculum promotes embracing a diverse value system that appreciates the unique characteristics of different ethnic heritages, regions, and nations, and exercising leadership in international settings.

TIU strives to help IR students analyze and understand the problems that occur in international society from a variety of different angles, including political, economic, legal, cultural, and linguistic perspectives, as well as to make their ideas heard in the wider social context.

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)

(概要)

〔国際関係学科〕

国際関係学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。

- ・国際社会の出来事に関心をもち、文化や価値観の多様性を理解し、問題解決のための実践的能力を身につけようとする意欲を有する。

〔国際メディア学科〕

国際メディア学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。

- ・メディアの意義や役割を理解し、情報を批判的・多角的に評価・判断し、みずから情報を発信する能力を身につけようとする意欲を有する。

〔English Track Program, International Relation Major〕

The School of International Relations, in accordance with the University's Admission Policy, particularly seeks students with the following qualities:

- ・A deep interest in international affairs and tackling global issues
- ・Understanding of and respect for diversity in culture and values

・Motivation to acquire practical skills for problem-solving

学部等名 人間社会学部

教育研究上の目的

(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)

(概要)

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探求し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成します。

福祉心理学科は、現代社会の諸問題を福祉の視点、心理の視点から捉え、専門性と総合的技術を備えた人材を養成します。

人間スポーツ学科は、スポーツの知識及び技能を修得し、社会貢献に欠かせない行動力や指導力を心身の両面から備えた人材を育成します。

スポーツ科学科は、人間諸科学の総合的な視点から、幅広く深い国際的な教養と豊かな人間性を兼ね備えたスポーツ競技者及びその指導者を目指す人材を養成します。

卒業又は修了の認定に関する方針

(公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/>)

(概要)

人間社会学部は、以下の能力を修得し、学則の定める卒業要件を満たした者に学士の学位を授与します。

〔福祉心理学科〕：学士（福祉心理学） 〔人間スポーツ学科〕：学士（人間スポーツ学）

〔スポーツ科学科〕：学士（スポーツ科学）

〔福祉心理学科〕

1. 社会福祉学と心理学の双方の学びを通して、共生社会のための様々な現場、心理学を活用できる様々な現場で活躍するために幅広い教養を身に付けている。
2. 私たちが生活する社会のなかでの福祉の在り方（知識、技術、制度）を把握・理解しているとともに、心理学を通じて心のしくみを理解し、その双方の知識と技術を生かして、他者や社会のための専門的な実践ができる。
3. 共生社会の在り方や社会制度の知識を十分に理解して、福祉の在り方を考えることができる。データの収集と分析において心理学の方法論を十分取り入れ、心や社会の仕組みを理解して問題解決を図ることができる。
4. 福祉に関する共生社会の在り方や社会制度、支援技術を理解して、さらに心理学の知識や技術、実践的なスキルを生かし、社会を俯瞰的、多角的に見ることができ、他者と協働してコミュニケーションをとることができる。
5. 福祉制度の理念と知識、そして支援技術を十分に理解・把握している。そして心理学の専門的な知識と技術を身に付けて、社会に貢献する態度を有している。
6. 社会人としての責任感・倫理観を遵守しつつ、福祉と心理学の知識や技術を新たに社会の支援のために活用するチャレンジができる。

〔人間スポーツ学科〕

1. スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。
2. スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。
3. スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。
4. スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを広範かつ実際に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身に付けている。
5. 人間の実生活の中で健康およびスポーツが精神、文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力をもっている。

6. 健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的態度・論理的思考力を有している。

[スポーツ科学科]

1. 身体・心理・栄養・技術・戦術に関する幅広い教養を身に付けている。
2. スポーツおよび健康を自然現象の原理原則を実生活に応用する立場から科学的に理解している。
3. スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、スポーツ行動や健康行動を科学的に理解し、問題解決を図ることができる。
4. スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを専門的かつ合理的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身に付けている。
5. 高度なスポーツ技能や多様なレベルに対応できる指導方法を身に付け、様々な専門家と協働してアスリートの支援ができる。
6. スポーツのパフォーマンスの向上を目指しながら、アスリートやスポーツ・運動のエキスパートとして求められる高い倫理観や創造的態度・論理的思考力を有し、グローバルな視点から活躍できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/>)

(概要)

人間社会学部では全学 CP を共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。

1. 初年次に大学での学修の基礎を身に付けるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的、段階的に学ぶカリキュラムを設定します。
2. 専門教育分野では、3つの学科にまたがって共通に学べる学科間共通科目と学科独自の専門科目とを設置します。
3. 実技や実験、実習、演習を通じて、社会の現場における課題に取り組む力や他者と協働する力を育成します。
4. 資格の取得を希望する者には、学科ごとに必要な所定の科目を履修できるカリキュラムを設定します。
5. 社会生活に必要な責任感及び倫理観の醸成や社会に貢献する態度の涵養のため、様々な現場実習や職場体験等の機会を提供する体験型プログラムを設置します。

上記の CP に加え、学科ごとに次の方針を定めます。

[福祉心理学科]

1. 福祉と心理のどちらも専門的な知識・技能の修得ができるよう、福祉系専門科目と心理系専門科目を設置します。
2. 共生社会または、心理学を活用できる様々な現場で活躍できるよう、専門的、実践的な科目を配置します。

[人間スポーツ学科]

1. 健康の維持・増進への社会的ニーズに応えられるスポーツ・運動指導者となるために必要な専門的知識やそれらを活用した指導方法を修得できるようにスポーツ理論専門科目とスポーツ実技専門科目を設置します。
2. 教職、健康運動指導士などの資格取得を目指す者のために、必要な科目を履修できるカリキュラムを設定します。

[スポーツ科学科]

1. スポーツパフォーマンスの向上を目指し、アスリートやスポーツ・運動のエキスパートとなるために必要な専門的知識や多様なレベルに対応できる指導方法を修得できるようにスポーツ理論専門科目とスポーツ実技専門科目を設置します。
2. 教職、トレーニング指導者などの資格取得を目指す者のために、必要な科目を履修できるカリキュラムを設定します。

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>〔福祉心理学科〕 福祉心理学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころのしくみに関心をもち、また共生社会の実現や福祉のまちづくりに関心をもち、実践的に活かそうという意欲を有する。 <p>〔人間スポーツ学科〕 人間スポーツ学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じて心身の仕組みなどについて学んだことを教育や社会活動に活かすことに関心・意欲を有する。 <p>〔スポーツ科学科〕 スポーツ科学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じて人間諸科学の視点から人間や社会を理解し、科学的なスポーツ実践に関心・意欲を有する。

<p>学部等名 言語コミュニケーション学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>言語コミュニケーション学部は、国際コミュニケーションの知識と技術を磨き、国際社会で活躍できる応用力と専門性を備えた人材を養成します。 英語コミュニケーション学科は、英語力を基軸に、国際コミュニケーションの知識と実践を統合的に探求し、国際社会に貢献できる人材を養成します。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/)</p>
<p>(概要)</p> <p>言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科は、次の能力を修得し、学則に定める所定の卒業要件を満たした者に学士（言語コミュニケーション学）の学位を授与します。</p> <p>〔英語コミュニケーション学科〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人として活躍するために必要な幅広い知識と思考力、判断力、表現力を身に付けている。 2-a. 自立した言語（英語）使用者として、身近な話題について主要な点を理解し、筋の通った簡単な文章を作ることができる。 2-b. 「異文化コミュニケーション」「英語ビジネスコミュニケーション」「英語教員養成」のいずれかの領域について体系立った専門知識と、それを活かすための分析力が身に付いている。 3. デジタル環境を活用しつつ、社会の諸課題を調査、分析し、解決する方策を論理的に日本語および平易な英語で提案できる。 4. 他者の異なる価値観を「個性」として受け入れ、人間関係を構築、保持、修正するために日本語および平易な英語でやり取りする力を有している。 5. 日本および国際社会の諸課題を他人事ではなく自分の問題として捉え、解決に向けて何をすべきかを考え、行動する習慣が身に付いている。 6-a. 公共の利益のために、他者と目標を共有したうえで、確固たる倫理観にもとづき、自ら

<p>率先して行動できる。</p> <p>6-b. 海外留学などの経験を通じて、新しい可能性にチャレンジし、諸問題を解決する行動力が身に付いている。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/)</p>
<p>(概要)</p> <p>言語コミュニケーション学部・英語コミュニケーション学科は、全学 CP を共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次に大学での学修の基礎を身に付けるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。 2. 基礎教育分野では、国際人として必要な知識・理解を多角的な学修で磨き、基礎的な教養と幅広い知識を身に付けるための多様な科目を設置します。 3. 「言語スキル科目」では、ネイティブ教員による少人数クラスの必修英語科目を基礎とし、留学やキャンパス内での国際交流などの機会を通して、より高いレベルの「使える英語力」が身に付くような環境を提供します。また、英語以外の外国語科目を設置し、複数の外国語の修得を目指すことも可能にします。 4. 専門教育分野では、「異文化コミュニケーション」「英語ビジネスコミュニケーション」「英語教員養成」のいずれかの領域について体系的に学ぶカリキュラムを設定します。 5. 学修方法の特徴として、多くの授業および演習・実践的な学修において、能動的な学修方法を積極的に取り入れ、社会の現場における課題に果敢に取り組む実践力のある人材を育てるための科目を配置します。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>英語コミュニケーション学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部が重視する英語教育に取り組むための基礎的な英語力を有する。 ・グローバル社会に興味を持ち、多様な社会の理解に努める意欲と行動力を有する。 ・「異文化コミュニケーション」「英語ビジネスコミュニケーション」「英語教員養成」のいずれかの分野に興味があり、学ぶ意欲を有する。

<p>学部等名 医療健康学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>医療健康学部は、医療・健康科学における専門的知識・技術をもって心身の健康を支援することで社会に貢献できる人材を養成します。</p> <p>「理学療法学科」は、現代社会の問題を理学療法の見点から捉え、医療・福祉分野のみならず、健康増進・介護予防分野においても活躍できる人材を養成します。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/)</p>
<p>(概要)</p> <p>医療健康学部は、全学 DP で示す 6 つの基礎力を修得し、学則の定める卒業要件を満たし、次の能力を修得した者に学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命に対する深い理解や人権の尊重に基づく高い倫理観を有する。 2. 他者を思いやる豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、多様な価値観や考え方を理解できる。 3. 人の健康を支援するための医療・健康科学に関する幅広い専門的知識や技術を有する。 4. 社会への関心と問題意識を持ち、他者と連携しながら主体的に課題解決できる。 5. 医療・健康分野で社会に貢献すべく強い責任感のもと自己研鑽ができる。

<p>〔理学療法学科〕：学士（理学療法学）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 良好な人間関係を構築する上で必要なコミュニケーション能力を有し、人々に対して思いやりをもって接することができる。 2. 理学療法士に求められる高い倫理観と道徳観を備えている。 3. 理学療法を必要としている人々を生活者の視点で全人的に理解することができる。 4. 理学療法に関する幅広い知識・技術を有しており、各専門職と連携しながら科学的根拠に基づく理学療法を実践することができる。 5. 理学療法関連の諸科学の発展や理学療法士に求められる役割や知識・技術の変化に対応し、生涯にわたり学び続けることができる。 6. 臨床理学療法、スポーツ理学療法、予防理学療法のいずれかの分野に関して、より専門性の高い知識・技術を有し、各分野の理学療法に貢献することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/)</p>
<p>(概要)</p> <p>医療健康学部は、全学CPを共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎教育分野において、良好な人間関係構築に必要な基礎理論を修得した上で、少人数制の演習授業を通じて、人々に対して思いやりをもって接することができるようにする。 2. 基礎教育分野及び専門教育分野の講義科目で、医療倫理及び理学療法倫理を学び、臨床実習科目で倫理原則の遵守を実践することで、理学療法士に求められる高い倫理観と道徳観を身につけられるようにする。 3. 臨床実習科目において、理学療法を必要としている人々を身体・心理・社会的立場・人格などあらゆる角度から理解できるようにする。 4. 専門教育分野において、科学的根拠に基づく理学療法の実施に必要な知識・技能を修得できるようにする。 5. 統計学や研究法に関する科目、少人数制の演習科目を通じて、専門職の生涯学習に必要な基本的な学修スキルおよび意欲・態度を身につけられるようにする。 6. 理学療法士に求められる役割や知識・技術の変化に対応するために、近年ニーズが高まっている臨床理学療法、スポーツ理学療法、予防理学療法に関する選択科目を設ける。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>理学療法学科では、全学アドミッション・ポリシーを共通基盤とし、特に次の素養をもつ学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療に興味関心があり、他者への慈しみの心を持って社会に貢献する意欲を有する。 ・理学療法士を目指し、専門知識や技術を学ぶ意欲をもち、そのための努力をすることができる。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/organization/</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	9人	—					9人
商	—	18人	2人	1人	人	人	21人
経済	—	28人	12人	4人	人	人	44人
国際関係	—	17人	14人	3人	人	人	34人
人間社会	—	25人	10人	7人	1人	人	43人
言語コミュニケーション	—	9人	4人	1人	人	人	14人
医療健康	—	8人	7人	2人	人	人	17人
教養（一般）	—	1人	人	59人	人	人	60人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		129人					129人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://poti.tiu.ac.jp/kgResult/japanese/index.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業方法、学修支援、カリキュラム改善などの教育実践力向上を目的として、学部（組織）別および全学的なFD研修を実施している。2025年度の実施状況は以下のとおり。							
◆全学FD研修会：11/5 ◆商学部：5/21・6/11・10/1・12/3							
◆経済学部：7/2・11/26 ◆国際関係学部：7/2・1/28・3/12							
◆人間社会学部：5/28・7/2・7/16・9/24・10/22・11/26・1/14・3/11							
◆言語コミュニケーション学部：7/16・10/8・12/3・3/11							
◆医療健康学部：6/25・1/28 ◆国際戦略研究所：9/17・10/15・11/19							
◆Global Teaching Institute (GTI)：6/18・10/29							
◆Japanese Language Institute (JLI)：1/9							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商	260人	249人	95.8%	1,040人	915人	88.0%	若干名	2人
経済	515人	418人	81.2%	2,020人	2,244人	111.1%	若干名	2人
国際関係	370人	301人	81.4%	1,480人	1,521人	102.8%	若干名	5人
人間社会	500人	481人	96.2%	2,000人	1,835人	91.8%	若干名	1人
言語コミュニケーション	210人	238人	113.3%	880人	937人	106.5%	若干名	0人
医療健康	80人	69人	86.3%	320人	227人	70.9%	-人	-人
合計	1,935人	1,756人	90.7%	7,740人	7,679人	99.2%	若干名	10人

(備考) 経済学部および国際関係学部においては、秋入学分を含めて入学定員を設定しているため、充足率は低く算出されている。

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商	153人 (100%)	1人 (0.7%)	141人 (92.2%)	11人 (7.2%)
経済	412人 (100%)	14人 (3.4%)	357人 (86.7%)	41人 (10.0%)
国際関係	266人 (100%)	3人 (1.1%)	236人 (88.7%)	27人 (10.2%)
人間社会	358人 (100%)	7人 (2.0%)	336人 (93.9%)	15人 (4.2%)
言語コミュニケーション	130人 (100%)	0人 (0%)	125人 (96.2%)	5人 (3.8%)
医療健康	57人 (100%)	0人 (0%)	54人 (94.7%)	3人 (5.3%)
合計	1,376人 (100%)	25人 (1.8%)	1,249人 (90.8%)	102人 (7.4%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
 教員、警察官、ALSOK株式会社、戸田中央メディカルケアグループ (TMG)、日本瓦斯株式会社 (ニチガス)、ディップ株式会社、アパホテル株式会社、消防官、アイリスオーヤマ株式会社、飯能信用金庫、自衛官、株式会社大塚商会、埼玉縣信用金庫、上尾中央医科グループ、日本郵便株式会社、大成建設株式会社、東武トップツアーズ株式会社、株式会社パレスホテル、羽田空港サービス株式会社、株式会社サイゼリヤ、コナミスポーツ株式会社、株式会社テラスカイ、リゾートトラスト株式会社、株式会社ユナイテッドアローズ、株式会社東京會館、医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院、アマゾンジャパン合同会社、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社帝国ホテル、日本たばこ産業株式会社 (JT)、三菱自動車工業株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社安川電機、ロート製薬株式会社、株式会社マイナビ、株式会社ミキハウス、東京地下鉄株式会社 (東京メトロ)、株式会社セールスフォース・ジャパン、株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド、ANAエアポートサービス株式会社、鴻池運輸株式会社、クラブツーリズム株式会社、セコム株式会社、日本食研株式会社、藤田観光株式会社、北野建設株式会社、セントラルスポーツ株式会社、東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社、トランスコスモス株式会社、株式会社一条工務店、日清医療食品株式会社、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ、三菱地所ホテルズ&リゾート株式会社、エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社、ホーチキ株式会社、ナブコシステム株式会社、株式会社アダストリア

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業テーマ及び授業内容については、授業の位置付けや学修の狙い等を踏まえて編成された年間の授業計画に基づき設定することとし、それらの関係性が体系的に理解できるよう配慮したシラバスを作成している。また、授業方法については、講義・演習のほか、アクティブ・ラーニング方式等についても明記するよう教員に求めている。さらに、実質性のない授業計画とならないよう、具体例を提示したシラバス作成要領を整備している。 ・具体的なシラバスの記載項目としては、授業内容及び方法(実務経験のある教員等の実務経験を活かした実践的な授業を含む)、各回の授業計画、到達目標、成績評価の方法・基準、事前事後の準備学修、試験・課題に対するフィードバック方法に加え、教科書・参考文献・成績評価基準に関する補足記載欄、特記事項、関連科目、履修上望まれる事項、授業に関する質問への対応等についての記載欄を設けている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスにおいて予め学生に示された成績評価基準（平常点・試験・レポート・その他）により厳格且つ適正に評価を行っている。各項目については曖昧さを排除するために、詳細欄を設け、補足的な説明を付すことにより成績評価基準をより明確に示している。 ・1年次生の履修科目(必修)やEnglish Track Programの卒業論文において、ルーブリックを基に評価をしている。 ・学位授与基準及び学位授与手続きについては、ディプロマ・ポリシー、及び卒業要件の形で学生ガイドブック【履修編】に明示され、また年度初めのガイダンスで説明を行っている。 				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
商	マーケティング	124 単位	有・無	40 単位
	経営	124 単位	有・無	40 単位
経済	経済	124 単位	有・無	40 単位
国際関係	国際関係	124 単位	有・無	40 単位
	国際メディア	124 単位	有・無	40 単位
人間社会	福祉心理	124 単位	有・無	40 単位
	人間スポーツ	124 単位	有・無	40 単位
	スポーツ科学	124 単位	有・無	40 単位

言語コミュニケーション	英語コミュニケーション	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	40 単位
医療健康	理学療法	130 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	40 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 : https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/gpa.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.tiu.ac.jp/campus/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

入学年度 /学期	学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
2026 2025 2024	商	マーケティング	850,000 円	250,000 円	310,000 円	施設費
		経営				
	経済	経済			320,000 円	
	国際関係	国際関係				
		国際メディア				
	人間社会	福祉心理	910,000 円		310,000 円	
		人間スポーツ			410,000 円	
スポーツ科学						
言語コミュニ ケーション	英語コミュニ ケーション	900,000 円	320,000 円			
医療健康	理学療法	910,000 円	650,000 円	施設費 410,000 円 実習費 240,000 円		
2023	商	マーケティング	850,000 円	250,000 円	300,000 円	施設費
		経営				
	経済	経済			300,000 円	
	国際関係	国際関係				
		国際メディア				
	人間社会	福祉心理	910,000 円		400,000 円	
		人間スポーツ				
スポーツ科学						
言語コミュニ ケーション	英語コミュニ ケーション	900,000 円	300,000 円			
医療健康	理学療法	910,000 円	640,000 円	施設費 400,000 円 実習費 240,000 円		

⑨ 大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>○オフィスアワー制度 本学では「オフィスアワー制度」を全教員の責務として実施し、学修相談・修学支援の充実を図っている。</p> <p>○シラバスの充実 授業内容に関する学習指導を適切に実施するため、シラバスに「授業に関する質問への対応」の項目を設け、質問への対応が可能な時間・場所等を掲載している。これにより、専任教員および非常勤教員のいずれにも相談できることを学生に周知している。</p> <p>○履修指導支援 学生の学修状況を継続的に把握し、必要に応じた履修指導を行う体制を整備している。本学で定めた欠席率を超えた学生に対しては、翌月初旬に連絡のうえ履修指導を行っている。また、当該学期の修得単位数が規定値以下またはGPAが1.0未満の学生についても、成績公開後に速やかに連絡のうえ履修指導を行っている。加えて、履修登録時に登録単位数が少ない学生に対しては早期に状況確認を行い、必要に応じて履修指導を実施するなど、学修の質と量の確保に努めている。</p>
--

留学生に対しては、基準となる GPA または修得単位数を下回った場合、翌セメスターに学習状況の改善を目的とした期間（アカデミック・プロベーション）を設けている。当該セメスターの開始時にはアカデミックアドバイザーの指導のもと学修計画書を作成・提出させ、計画的な学修改善を支援している。

English Track Program においては、全学部生を対象にアカデミック・プロベーション制度を適用している。また、毎月の出席状況を確認し、出席率が 30% を下回ることが見込まれる学生に対しては当該月中に速やかに連絡を行い、学修状況の把握および改善指導を実施している。留学生については、当該情報を翌月初旬に国際交流担当部署と共有し、継続的なフォローアップを依頼するなど、学内連携による支援体制を確保している。

以上のように、課程ごとの特性を踏まえつつ、学生個々の状況に応じたきめ細かな履修支援を実施している。

○語学学習・留学支援

英語学習支援として、GTI 教員によるマンツーマンの予習・復習指導や学習課題へのアドバイスが受けられる「Academic Advising」を整備している。また、「English Lounge」では GTI 教員との英会話を通じ、対話力の向上を図ることができる。

留学生の日本語学習支援として、語学学習エリア「Japanese PLAZA」および「Learning Commons」を設置し、日本語教員による個人指導や授業・学習に関する相談の機会を提供している。また、Learning Commons では学生サポーターとの会話練習も行うことができる。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

○教育課程

初年次生を対象に、基礎教育分野の TIU コア科目として「大学生生活デザイン演習」を学部横断の必修科目として開設している。本科目では、自身のキャリア形成を考え、充実した大学生活に向けた 4 年間の行動計画を作成することを通じて、キャリア形成への第一歩を踏み出すことを目的としている。

○個別指導・就職支援デスク

キャリアセンターでは、学生一人ひとりの状況に応じた最適な進路選択を支援するため、きめ細かな「個別指導」を実施している。本学の特色のひとつである体育会強化クラブの学生に対しては、その特性を活かした就職支援を目的として「アスリート就職支援デスク」を設置し、専門のコンサルタントがサポートを行っている。また、English Track Program の学生に向けては外国籍を含むバイリンガルスタッフを配置し、英語による各種支援行事の開催および日英両言語による相談体制を整えている。

○就職ガイダンス

就職活動が本格化する学部 3 年次生に対しては、計画的な就職活動を支援するため、「就職ガイダンス」「インターンシップガイダンス」「エントリーシート・履歴書セミナー」「面接特訓セミナー」などのガイダンス・各種セミナーを開催している。また、「学内企業説明会」を複数回開催し、内定獲得につながる機会を提供している。さらに、外国人留学生向けの「外国人留学生就職ガイダンス」、英語での「キャリアガイダンス」および各種セミナー、公務員を志望する学生向けの「公務員ガイダンス」など、学生の特性および進路希望に応じた多様なガイダンス・セミナーを実施している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

学生の心身の健康保持・増進および安全・衛生への配慮として、川越第 1 キャンパスおよび池袋キャンパスに看護師が常駐する保健室を設置している。健康診断の実施、要再検査学生への指導、疾病者への応急処置を行うとともに、学外の医療機関と連携した緊急時対応体制を整備し、学生の健康と安全を支えている。また、2017 年度に学内全面禁煙を実施、2018 年

度には東京国際大学禁煙宣言を策定し、禁煙教育・啓発活動の推進および学外における本学関係者の喫煙抑止に取り組んでいる。

加えて、川越第1・池袋キャンパスに学生相談室を設置し、専門カウンセラーが対人関係やこころの不調などの相談に応じている。学生支援センター、保健室および学生相談室は相互に連携し、学生の心身の健康保持・増進を図っている。

保健室および学生相談室の利用方法についてはポータルサイト上で周知し、対面のほかオンライン（Zoom）による相談にも対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F113310104198
学校名 (〇〇大学 等)	東京国際大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人東京国際大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		1156人（ 682 ）人	1094人（ 642 ）人	1208人（ 717 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	361人	323人	
	（うち多子世帯）	（ 83人）	（ 73人）	
	第Ⅱ区分	146人	149人	
	（うち多子世帯）	（ 26人）	（ 24人）	
	第Ⅲ区分	99人	97人	
	（うち多子世帯）	（ 23人）	（ 20人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	111人	113人	
	区分外（多子世帯）	439人	412人	
家計急変による 支援対象者（年間）				-（ 0 ）人
合計（年間）				1213人（ 717 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	- 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	7人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	53人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	28人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	24人	人	人
計	112人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	17人
3月以上の停学	0人
年間計	17人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	6人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	7人	人	人
GPA等が下位4分の1	151人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	52人	人	人
計	210人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。